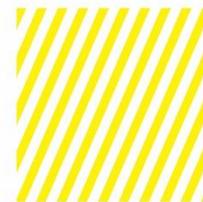


# 次期総合計画策定に向けた 市民意向調査の結果

(HP・広報)

茨木市 企画財政部 政策企画課

令和5年11月



次なる  
茨木へ。

01	目次	.....	1
02	調査概要	.....	2
03	回答者属性	.....	3
04	幸せに関すること	.....	5
05	暮らしたいまち等	.....	7
06	茨木市の魅力	.....	9
07	調査票	.....	11

## 調査の目的

本調査は、「第5次茨木市総合計画」が令和6年度に目標年次を迎えるにあたり、これに続く「(仮称)第6次茨木市総合計画」の策定に向け、市民が日頃まちづくりについて考えていることや、まちづくりに対する率直な意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

## 調査対象

茨木市民全体

## 調査時期

令和5年6月30日(金) ～ 7月31日(月)

## 調査方法

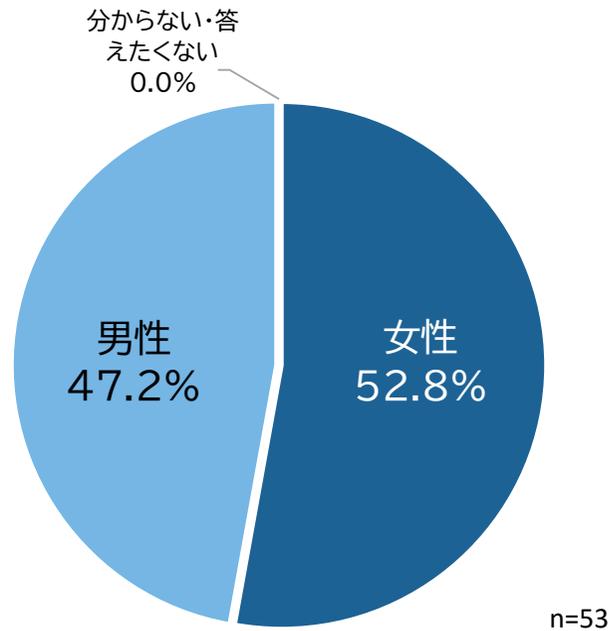
市HP及び広報により周知、Webにより回答

## 回収数

53票

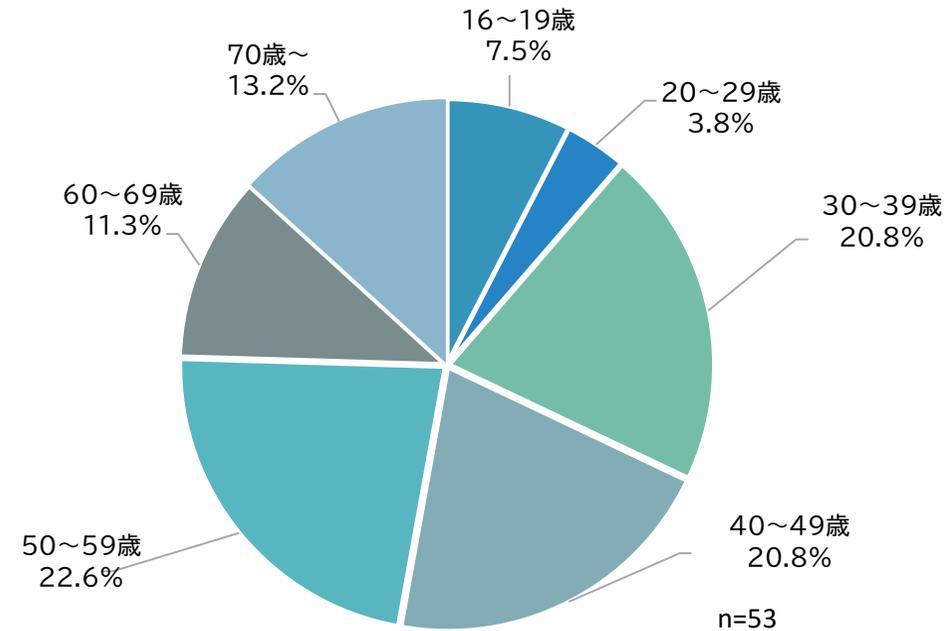
## 性別

「女性」52.8%、「男性」47.2%となっており、茨木市における実際の割合と近くなっている。



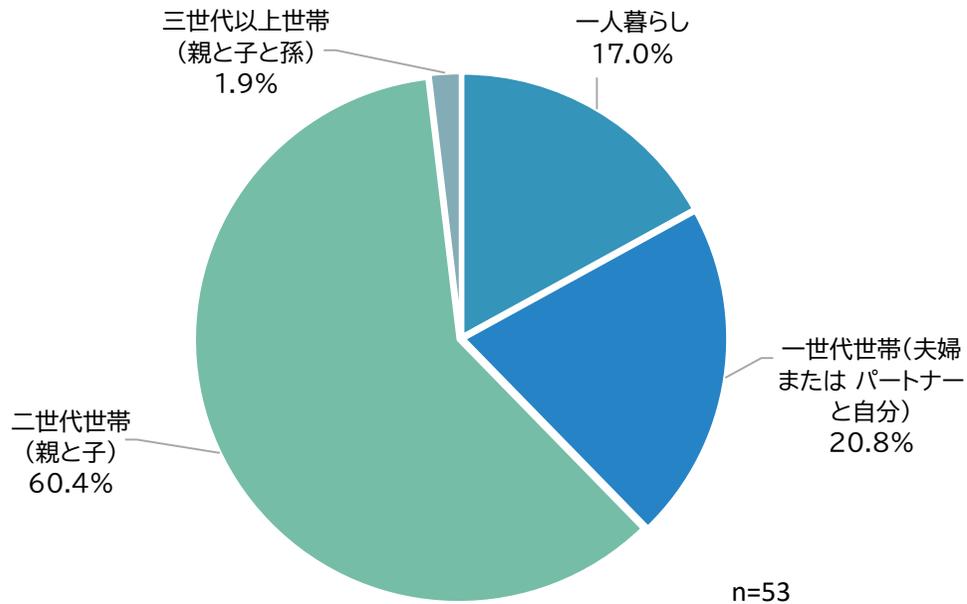
## 年齢

「50~59歳」が22.6%と最も多く、次いで「30~39歳」が20.8%、「40~49歳」も20.8%となっている。



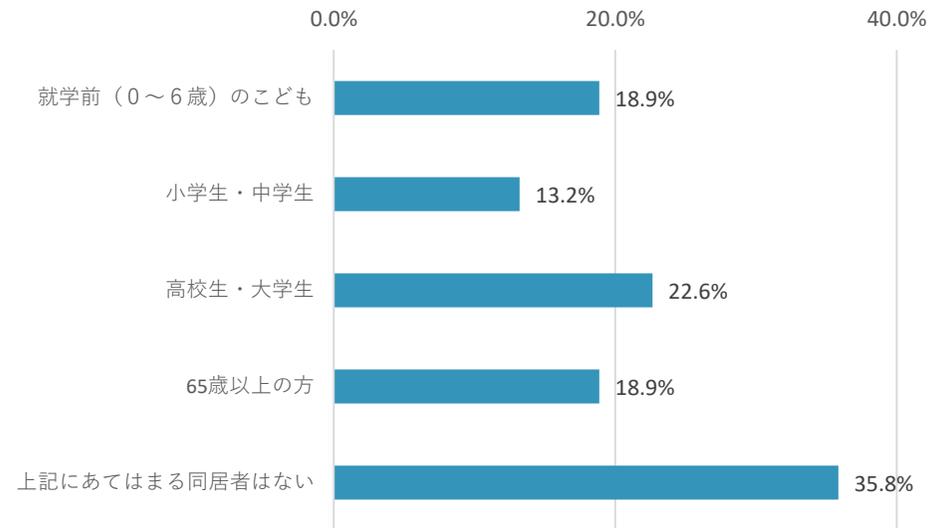
## 世帯構成

「二世帯世帯（親と子）」が60.4%と最も多く、次いで「一世代世帯」が20.8%、「一人暮らし」が17.0%となっている。



## 同居する家族

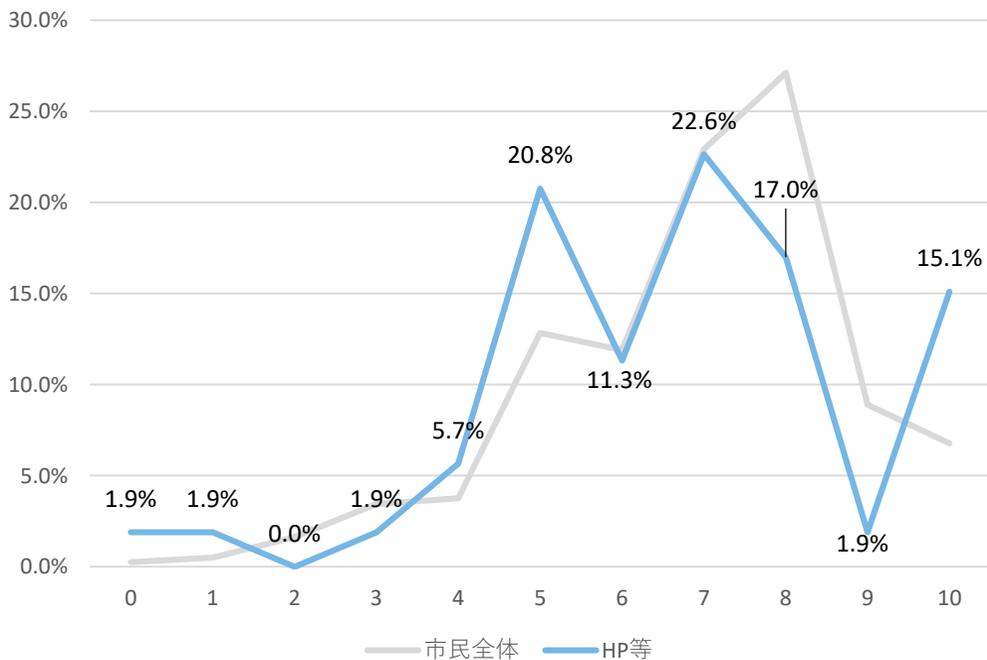
同居する家族に該当するものとして、「高校生・大学生」が22.6%と最も多く、次いで「就学前のこども」「65歳以上の方」が18.9%となっている。



## 幸せ度

主観的幸福度について、「とても幸せ」を10点として、11段階（0~10点）で質問を行った。平均は6.642点となっており、16歳以上の調査結果の平均である6.896点を下回る結果となった。

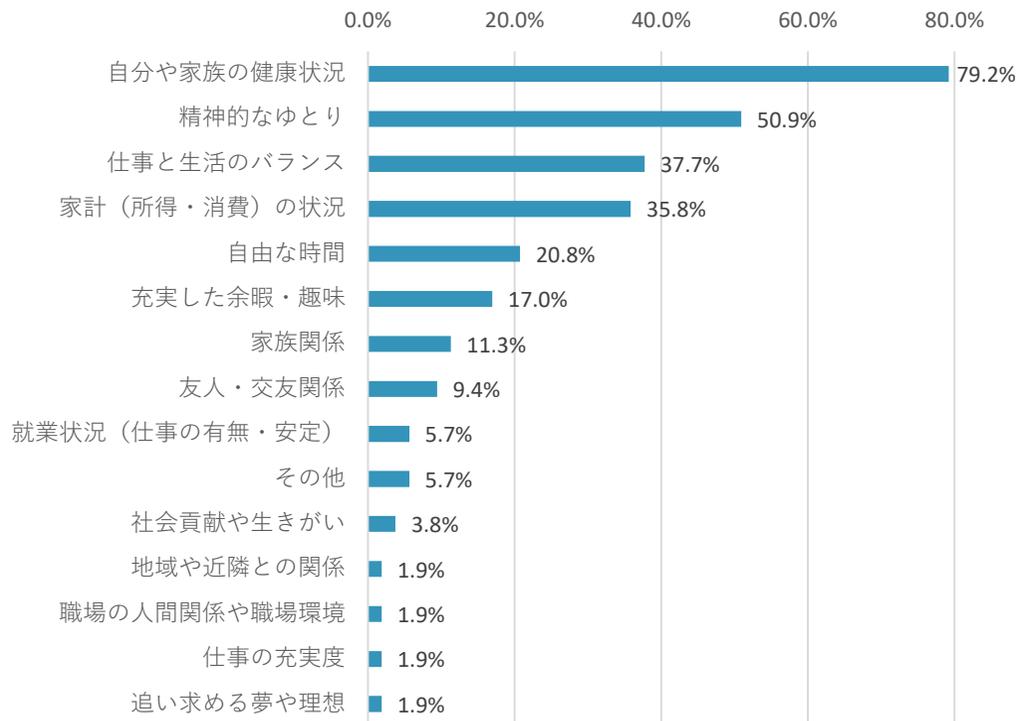
「7点」が22.6%と最も多く、次いで「5点」が20.8%、「8点」が17.0%となっている。



## 幸せに必要なもの

幸せであるために重要なものを最大3つ選択するという質問を行った。

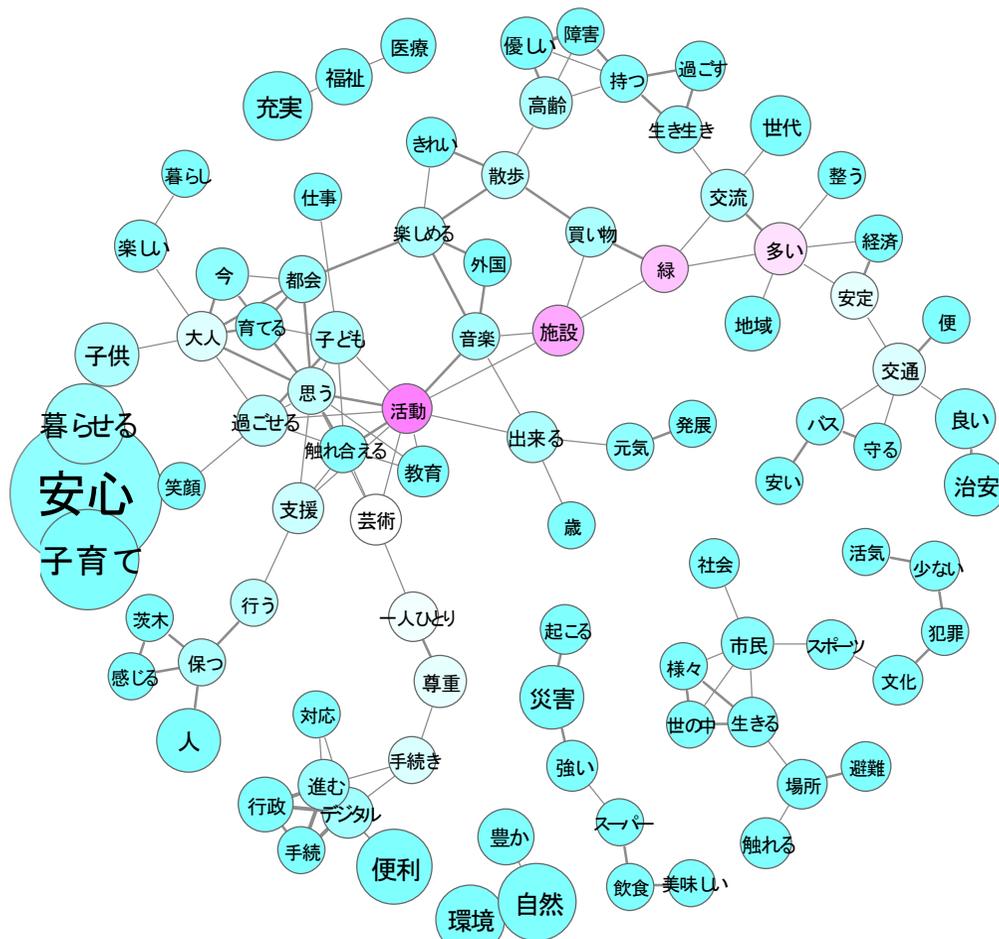
「自分や家族の健康状況」が79.2%と最も多く、次いで「精神的なゆとり」が50.9%、「仕事と生活のバランス」が37.7%となっている。





将来どのようなまちで暮らしたいかという質問に対し、頻出単語とその相関関係は以下のとおり。

単語	出現回数
安心	60
子育て	31
暮らせる	20
安全	19
自然	19
便利	17
生活	15
環境	14
充実	14
災害	11
子供	11
人	11
治安	10
世代	9
良い	9
福祉	7
豊か	7
医療	6
行政	6
住む	6



(AIテキストマイニングによる分析)

出現回数の多い単語は大きく表示され、関連性の高い言葉が線により結びつけられている

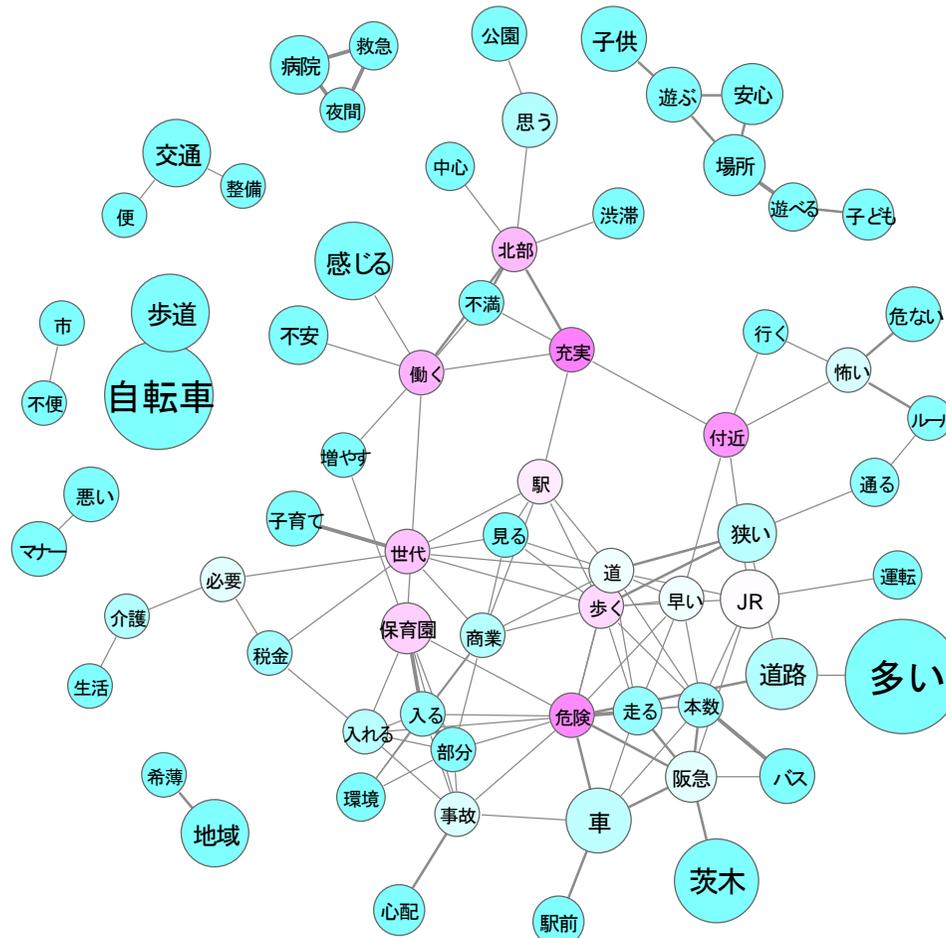
無作為抽出調査と同様に、安心して暮らせるまちという意見が最も多く見られた。災害時に安心して暮らせるという意見や、漠然と安心できるまちという意見が多く見られた。

また、自然の豊かさを求める意見と、買い物等の利便性を求める意見が同程度の割合で見られた。

# 不安・不満に感じること（自由記述）

茨木市でどのようなときに不安・不満を感じるかという質問に対して、頻出単語とその相関関係は以下のとおり。

単語	出現回数
少ない	26
多い	25
自転車	22
特に	20
茨木	15
感じる	13
施設	13
歩道	13
道路	11
交通	10
人	10
地域	10
子供	9
車	9
安心	8
場所	8
狭い	7
支援	7
病院	7
不安	7



（AIテキストマイニングによる分析）

出現回数の多い単語は大きく表示され、関連性の高い言葉が線により結びつけられている

無作為抽出調査と同様に、交通に関する意見が最も多く見られた。自転車のマナーに関する意見や、市内でのバスの移動が不便という意見が多くあった。

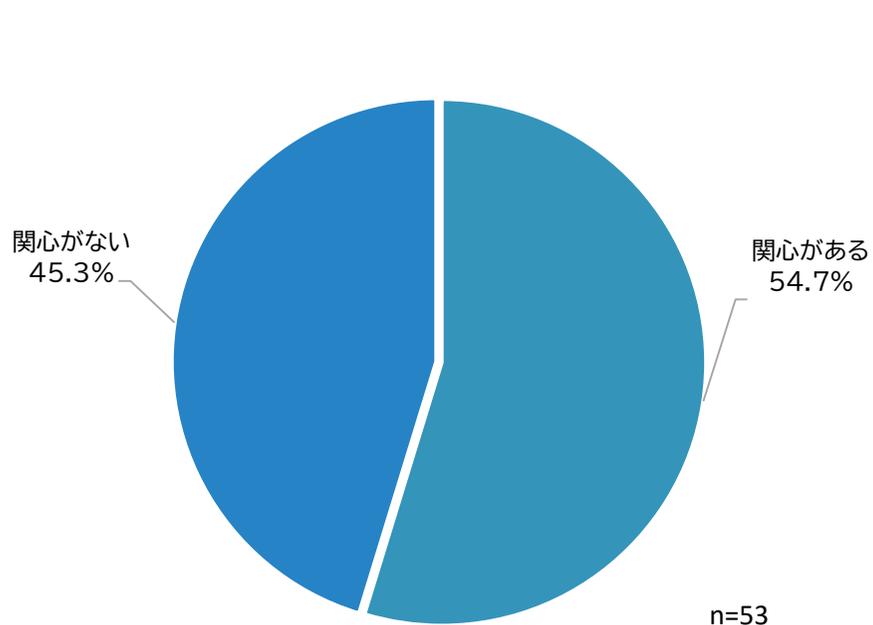
また、夜間などの救急病院が少ないという意見も見られた。



## 情報発信

茨木の良いところや魅力を発信することに興味があるかについて質問を行った。

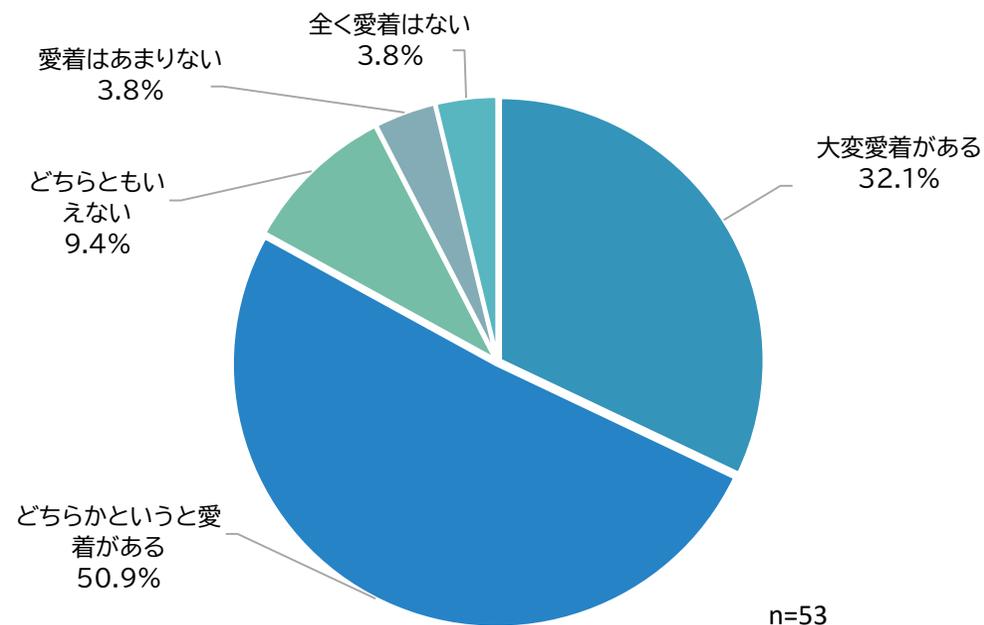
「関心がある」が54.7%と過半数を超え、「関心がない」が45.3%となっている。



## 愛着度

茨木に愛着を感じているかについて質問を行った。

「どちらかというとな愛着がある」が50.9%と最も多く、次いで「大変愛着がある」が32.1%、「どちらともいえない」が9.4%となっている。



問1 あなたの性別・年齢について、教えてください。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

【性別】	【年齢】
1. 女      2. 男	1. 16～17歳    2. 18～19歳    3. 20～29歳    4. 30～39歳
3. 分からない・答えたくない	5. 40～49歳    6. 50～59歳    7. 60～69歳    8. 70歳以上

問2 あなたの同居家族構成について、教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 一人暮らし	2. 一世代世帯(夫婦 または パートナーと自分)
3. 二世帯世帯(親と子)	4. 三世帯以上世帯(親と子と孫)
5. その他(兄弟姉妹など)	

問3 あなた自身を含め、下記のような方と同居していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就学前(0～6歳)の子ども	2. 小学生・中学生
3. 高校生・大学生	4. 65歳以上の方
5. 1～4にあてはまる同居者はない	

問4 今のあなたの生活における幸せ度は何点ですか。幸せ度を10点満点としてお答えください。(0～10点までの間で、1つに○)

→ とても幸せ

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

問5 あなたが幸せであるために重要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 自分や家族の健康状況	2. 仕事と生活のバランス	3. 精神的なゆとり
4. 就業状況(仕事の有無・安定)	5. 家計(所得・消費)の状況	6. 自由な時間
7. 地域や近隣との関係	8. 友人・交友関係	9. 家族関係
10. 職場の人間関係や職場環境	11. 仕事の充実度	12. 充実した余暇・趣味
13. 社会貢献や生きがい	14. 追い求める夢や理想	
15. その他(具体的に: _____)		

問6 あなたは、普段の生活でどのようなときに幸せを感じますか?細かなことでも構いませんので具体的に記入ください。

(記入例)  
早朝に爽やかな空気を吸いながら友人と散歩をしているとき、家族とカフェでゆったりとコーヒーを飲んでいるとき、山間部でサイクリングをしているとき、色々なお店を巡って買い物を楽しんでいるとき、マスクを外して友達と会話を楽しんでいるとき など


問7 現在、茨木市で生活してどのようなときに不安・不満を感じますか?細かなことでも構いませんので、具体的に記入ください。

(記入例)  
子どもが安心して遊ぶことができる場所が少ない、地域のつながりが希薄で災害発生時などいざというときに心配、中心部で自転車が多くて歩きづらい、みどりを感ずることができる場所が少ない など


問8 あなたは、将来どのようなまちで暮らしていきたいと思いますか?細かなことでも構いませんので、具体的に記入ください。

(記入例)  
安心して子育てできるまち、何歳になってもやりがいがあるまち  
まちなかで芸術に触れられるまち、みんながスポーツを楽しんでいるまち  
災害が起こっても安心してできるまち、まちなかの移動が便利なまち  
感染症の流行時や病気になっても安心して生活できるまち  
日々自然に触れられるまち、デジタル化が進んでいて行政手続きが便利なまち  
地域のつながりが強いまち、一人ひとりが尊重されるまち など


問9 あなたが友人に薦める、茨木市の良いところ、魅力はどのようなものがありますか?具体的に記入ください。

(記入例)  
教育環境が充実している、交通の便が良い、まちなかに自然を感じられる場所が多い、地域のつながりが感じられる など


問10 あなたができることで、茨木の良いところや魅力を情報発信することに興味がありますか。(あてはまるもの1つに○)

(情報発信の例)  
SNSやブログなどで茨木の魅力(お店、何気ない日常や風景、イベント)などを発信する、家族や友人に茨木のいいところや場所を紹介する、市内で生産された商品を手土産として購入し持っていき、イベントを企画したり運営に参加したりする など

1. 関心がある	2. 関心はない
----------	----------

問11 茨木というまちに愛着を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 大変愛着がある	2. どちらかという愛着がある	3. どちらともいえない
4. 愛着はあまりない	5. まったく愛着はない	